

〈連載〉

文：田中くるみ（コ本や honkbooks）

一匹の書物 Vol.01

シャーマンにみる「化粧」と変身、
正体不明のものを想像すること

古書店であり、アートの実践の場でもある「コ本や honkbooks」が、『文化と生物学』をテーマに、店内に眠る一冊を紹介する本連載。「化粧と怪獣」がテーマの1号では『シンディ・シャーマン展図録』を紹介する。



Figure 1. 『シンディ・シャーマン展図録』（朝日新聞社）1996年刊行。

シンディ・シャーマンは、1954年、アメリカのニュージャージー州生まれのアーティストである。様々な情景の中に、自らの姿を登場させる写真作品を制作した。作品の中でシャーマンは、メイクアップ、髪型、衣装など表層を変えることで、自身とは異なる人物に変身する。シャーマンが変身する対象は、白黒映画に登場する女性、おとぎ話に出てくる怪物、ホラー映画に出てくるような腐乱死体、古典絵画に描かれている人物まで、さまざまである。

シャーマンは図録内のインタビューで、子どもの頃に遊んでいた着せ替えごっこや、学生時代には着替えのために鏡の前で長い時間を費やしていたというエピソードについて振り返りながら、「化粧」やドレスアップを、一般的に考えられる「化粧」の動機——「美くなるため」とか「食事に出かけるため」——ではなく、「別の人間になるため」にやっていたと話す [1]。別の人間になりたいというのも、現状への不満や自己否定からくるものではなく、純粋な興味からであった。

彼女の表現形式には、映画や雑誌のグラビアなどが存在するアメリカという場所やそういった時代が影響していて、また作品を生み出す背景には彼女が女性であることが深く関わっているが、その中で経験した「化粧」に対する愛憎一体の気持ちについても語る。それは例えば、「化粧や魅惑的なことから夢中になりながらも、同時にそれを憎む」 [2] ということや、「好ましい、あるいはできるかぎりセクシーで美しい女性に装おうとしながら、同時に、そういったことに価値を見いだす構造に捕われた、囚人のような感じがする」 [3] ということ。作品の中で次第に醜さを強調するような化粧が増え、変身対象が怪物や死体といったグロテスクで恐ろしいものに移行していったのは、そういった社会的・文化的に作られた価値基準やそれに乗っかることに対する抵抗とも読み取れる。

また、映画やお話に登場する恐ろしいこと惹かれる理由については次のようにも語っている。

“ホラー映画やお伽話のなかの、ぞっとするようなことに魅せられるのは、少なくとも私にとっては、考えも及ばないことに対する心の準備みたいなものです。私の一番恐れていることは、惨烈な死。グロテスクなものや恐ろしいことに惹かれるのは、それに対する心の準備のひとつです。願わくば、神はそんな経験を私にさせないように。 [4]”

作品が「作り物」とわかることも重要だという。なぜなら、現実にかかる恐ろしいことは「作り物」より遥かに深刻なものだからだ。

「化粧」という方法で、さまざまな人物、さらには人間にとって恐ろしい存在に変身して、シャーマンはその姿を提示して見せた。その手つきは軽やかで見事なものに加え、普段何気なく行っている「化粧」という行為を問い直し、その行為が持つ可能性について考えるきっかけを与えてくれる。現在、私たちの体や姿を変えるという意味で変身する方法は、例えば美容整形など、体の表層ではなく、体のつくりそのものを変えてしまうようなやり方が浸透しつつある。それに比べると、「化粧」の変化は可逆的で、元に戻ったり別の姿を試したりすることが容易だという特質に思い当たる。

また、自分とは異なるもの、正体不明のものを想像するという点においても示唆的だ。自分とは異なる

るものの立場からものを考えることは難しい。自然災害や感染症は、昔から私たちが直面してきた危機だが、現在も乗り越えられるわけではない。そのわからなさをそのまま抱えながら、考えを深めようと、あるいは考え続けようとするときに、「作り物」は役に立つのかもしれない。

注釈

[1] 『シンディ・シャーマン展図録』朝日新聞社、1996年、p.156

[2] 同上、p.158

[3] 同上、p.158

[4] 同上、p.159

コ本や honkbooks

2016年6月より活動するプラクティショナーコレクティブ。映像や書籍の制作、展覧会やイベントを企画するメディアプロダクションとしても活動する。活動拠点として「コ本や honkbooks」を運営し、プロジェクト・スペースとして「theca (テカ)」を併設する。青柳菜摘／だつお (アーティスト)、中島百合絵 (企画制作ディレクター) 主宰。2023年4月に拠点を神楽坂に移転し、書店兼プロジェクト・スペースとしてグランドオープンした。

住所：東京都新宿区山吹町 294 小久保ビル 2 階

開館時間：12:00～20:00

休業日：火～木

<http://honkbooks.com/>